

2020年NPT・世界大会inニューヨークめざし
「ヒバクシャ国際署名」を思いっきり集める勢いをつける

大学習会

核廃絶を願う方は、こぞってご参加を!
参加無料。どなたでも参加できます

講演

核兵器禁止条約成立2年 被爆75年に向けた課題と展望・市民運動の役割

原水爆禁止日本協議会・全国担当常任理事 **川田 忠明さん**

核兵器禁止条約成立2年。条約の調印国は70カ国、批准国は25カ国に。世界の多数は核廃絶に向かっていきます。来年にも50カ国以上の批准で条約発効の見通しです。一方、アメリカやロシアは新たな核開発、核軍拡競争に走り、日本など「核の傘」にしがみつく同盟国は禁止条約に反対し、被爆者の願いに背を向けています。

2020年4月下旬に、国連で開かれるNPT（核不拡散条約）再検討会議に向けて世界から核廃絶の世論を結集し、核保有国を包囲することが求められています。被爆国日本の草の根の市民運動の課題と役割は何かを学びます。

- * 10月の国連総会に「ヒバクシャ国際署名」を提出します。
- * 9月26日は核兵器廃絶国際デー・全国行動デーです。
- * 全ての市町村で「原爆の絵」展を開きましょう

日時

9月13日(金)

午後6時30分開会

会場

勤医協ビル

5階大会議室



連絡先

原水爆禁止山梨県協議会事務局

☎090-5419-2696